

後期の課題について

課題1 印象に残っている都市、観光地又は名所旧跡、又はこれから行ったみたい都市、観光地又は名所旧跡 (欧州・ロシア・北南米・豪州に限る)

提出期限 2017年10月13日(金)まで 提出用紙 A4サイズを縦にして使用(補助教材の大きさ) 1枚

書式 英文のため横書き 科目名称、曜日時間帯、学籍番号、氏名を上部に記載

- ・PC等による活字プリントアウトしたもの、あるいはハンドライティング 印字は原則、黒。場合により写真や絵を挿入してもよい。その場合には英文の文字数が極端に少なくならないようにして下さい。活字の場合には 10.5 ポイントを使用し、最低 15 行を目安。なお、ハンドライティングの場合にはあまり大きな字とせず、最低 20 行を目安。文字数は多い方を高く評価する。

Sample 1 タイトルは自分で考えて下さい。 My Favorite Sightseeing Spot: The Tower of London

以下の内容を必ず含むこと。①いつ、②なぜ印象に残ったか、あるいはどうして行ってみたいのか。

課題2 印象に残っている都市、観光地又は名所旧跡、又はこれから行ったみたい都市、観光地又は名所旧跡 (日本以外のアジア・アフリカに限る)

提出期限 2017年11月24日(金)まで

用紙サイズ及び書式は課題1に準じる

Sample 2 タイトルは自分で考えて下さい。 My Favorite City: Beijing

上記の①~③に準じる。

.....

評価方法の確認 レポート(40%)、授業内での活動と到達度確認活動(30%+30%)大学の規定により欠席は3分の1(5回)を越えないようにしてください。単位が取れなくなります。課題のフィードバックは2~3週間後に行う。フィードバックしたコメントを次回に生かすように心掛けて下さい。

レポートの評価基準・評価方法 各レポートは20%づつの割合で評価し、40%となります。

- 1 提出期限は守られているか。授業中の手渡し。又はメール提出。 ssk2000takashi@yahoo.co.jp まで。遅延提出は翌週を目安までを。ただし、評価は遅滞状況によりどんどん下げます。提出してFと未提出は評価が異なります。
- 2 行数は十分あるが(ミスはない方がいいが、行数が多くなれば、間違える確率が高くなるのは当然なので、行数の多いものは配慮する。主眼はできるだけ長文を書くこと)
- 3 タイトルに合った内容になっているか
- 4 必要な情報が含まれているか
- 5 整理された内容になっているか(単なる羅列になっていない)

.....

プラスの要因

- 6 文法等に即した英文である。間違いが少ない。
- 7 主語がいつも I から始まるものではなく、無生物主語なども織り交ぜている。
- 8 その人にしか書けない内容になっている。主体的に書かれている。
- 9 同じ表現を単に繰り返さず、工夫がみられる。
- 10 文字情報で説明しにくい場合には図や写真などを使い、わかり、見やすい 仕上がりになっている。

評価の目安：テストの結果は平均等により「よい」基準は変動

課題1	課題2	テスト	授業活動	総合
S	S	よい	よい	S
S	S	ふつう	よい	S 又は A 又は B
S	A	かなりよい	かなりよい	S 又は A
S	S	わるい	かなりよい	A 又は B
S	S	よい	かなりわるい	C 又は F
S	S	かなりわるい	よい	B 又は C

※課題1及び課題2が上記のようにS又はAであること。その上で試験の結果が問題となります。S評価は90点以上の評価という性質をもっているため、全体的なものがすべてこれに相当するような評価を受けることが必要です。

S	B	かなりよい	かなりよい	A
S	B	ふつう	ふつう	A 又は B
S	C	ふつう	ふつう	B
S	F	ふつう	ふつう	C
S	未提出	かなりよい	かなりよい	F
A	A	かなりよい	かなりよい	A
A	B	かなりよい	かなりよい	A 又は B
A	C	ふつう	ふつう	B 又は C
A	F	かなりよい	かなりよい	A 又は B 又は C
A	未提出	かなりよい	かなりよい	F
B	B	わるい	よい	B 又は C
C	C	わるい	わるい	F
C	C	わるい	ふつう	C 又は F 要再試験の結果により C

※2回の課題の評価がCとCの場合には授業の活動とテストがあまりよくない場合にはFとなります。BとBの場合には授業の活動がよく、テストのみあまりよくない場合にはCとなる可能性が高くなります。平均点との兼ね合いとなります。

課題2回の提出がない、試験が未受験の場合には他の結果に係わらずFとなります。